

かけ橋

まだ見ぬ君へ...



地区福祉推進会に関する問い合わせは
社会福祉協議会 ☎64-6600

地区福祉推進会は、小学校区を単位とした住民の組織です。市内には、現在富士南、富士見台、今泉、吉永、天間、須津、岩松、富士駅南（発足順）の八地区に福祉推進会があります。

住民のための

住民による

住民の

あなたの住んでいる地域は、福祉が充実していますか。福祉と一言で言っても、高齢者、障害者、児童、生活困窮者など、その範囲はとても幅広く、ちよつと難しい問題のように思つかも...。けれど、人はだれも、やがて老い、死を迎えます。また、突然の病気や何らかの理由で体が不自由になつたり、生活が苦しくなつたりするかもしれない。福祉の必要性は、意外と身近にあります。地域の人々と一緒に考え、活動していかなければならぬ問題なのです。

須津地区福祉推進会の実行委員は約九十人。昼間お勤めしている人のための夜間福祉相談や、ひとり暮らしのお年寄りを対象にした、福祉推進会のメンバーの手づくり「夕食サービス」に力を入れています。

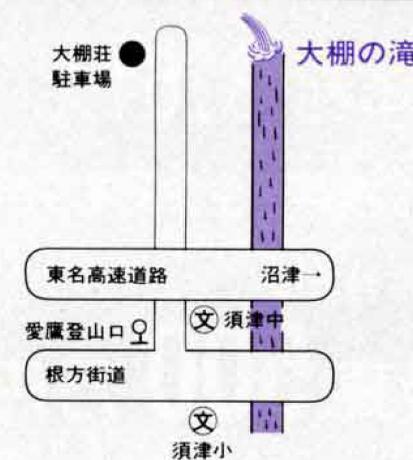
「夕食サービス」は、毎月第三木曜日に福祉推進会のメンバーが須津公民館でお弁当をつくり、十人くらいで手分けして配達しています。いつもこのお弁当を楽しみにしているお年寄りは、約二十人。お弁当が届くと思わず笑顔がこぼれ、話に花が咲きます。お年寄りにとっては、配達してくれる人との交流も楽しみの一つになっています。

須津地区は農家が多いので、野菜、米、みかんなどを持ち寄り、小麦まんじゅうをつくってきたりする人もいます。地域住民に活動の輪が広がっています。

地区福祉推進会は、だれもが安心して暮らせるまちづくりのため、住民の力で、地域に根差した福祉活動を地道に続けています。



「おいしいお弁当を食べてほしい」
そんな思いを込めてつくります



暑中お見舞い申し上げます。ことしの夏は、去年までの冷夏とは打って変わって、まれに見る酷暑。加えて空梅雨だったこともあり、全国各地では水不足が深刻な問題になっています。幸いにも富士市は、巨大な水がめの役割を果たしている富士山のおかげで何とか水の恵みを受け続けることができます。しかし、水は限りある資源。皆さん大事に使いましょう。さて今回は、水と緑に囲まれた涼しげな避暑地の紹介。

「須津川溪谷」は、愛鷹山系一の美しい渓谷です。その中でも一番の見どころは、大柵の滝。中里登山口から六、七ほど登ったところにあります。落差二十一メートルにあり、夏でも水温は十五度から二十度くらいの清水がごうごうと落下しています。大柵の滝を眺めるのに格好の場所は、「滝見橋」。長さが三十三メートルのつり橋です。このつり橋を渡って、滝の周りの遊歩道を歩いてみませんか。大柵の滝周辺には、キャンプ場や管理棟（大柵荘）などがあります。夏場は混雑が予想されますので、路上駐車せず、駐車場（七十四台収容可能）を利用してください。また、ごみの投げ捨てなどしないよう、マナーに心がけて、さわやかな気分で自然を満喫してください。

「須津川溪谷」

今がしゃん！
見どころ
食べどころ